

記者発表資料

「R4・5国道18号安中地区外電線共同溝工事」において
「公募型指名競争入札方式」による工事発注の試行と、「余裕期間制
度」及び「難工事施工実績の評価」「難工事指定」を採用します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、技術者の確保や労働力、資機材の調達が困難である工事内容や地域特性を踏まえ、競争参加者が少数と見込まれ、技術的難易度が比較的低い工事について、「公募型指名競争入札方式」による工事発注を試行します。

また、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取り止めや不調が予想される工事について、不調・不落対策を試行しており、本工事においては、「余裕期間制度」を採用します。

また、WTO未満の電線共同溝整備である本工事において、難工事に従事した経験のある企業や技術者へのインセンティブ付与を図る観点から、企業の技術力及び配置予定技術者の技術力で「難工事施工実績」「難工事功労表彰等」の評価を採用するとともに、社会条件やマネジメント特性の厳しい工事であることから、「難工事指定」を採用します。

①「余裕期間制度」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間制度を採用します。

②「難工事施工実績の評価」

R4年度から配置予定技術者について、主任（監理）技術者に加え、現場代理人を評価対象とするとともに、評価対象期間を1年間から4年間に見直し、企業の技術力及び配置予定技術者の技術力の合計で最大4点の加点を行います。

③「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、高崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所 電話：027-345-6000（代）
副所長（技） 水澤 良幸（みずさわ よしゆき） 内線：204
工務第二課長 星野 実（ほしの みのる） 内線：411

高崎河川国道事務所ホームページ [高崎河川国道](#)

R4・5国道18号安中地区外電線共同溝工事

《工事概要》

- (1) 工事名 : R4・5国道18号安中地区外電線共同溝工事
(2) 工事場所 : 群馬県安中市安中^{あんなかし あんなか}外1箇所
(3) 工期 : 契約の翌日から353日間（工事着手期限：令和4年11月1日）
(4) 入札方式 : 公募型指名競争入札方式 総合評価方式【試行】
(5) 工事種別 : アスファルト舗装工事（A）
(6) 工事内容

【電線共同溝】埋設管路工約5,700m、プレキャストボックス工 1式、
舗装工（復旧工）約1,000m²、排水構造物工 1式、
構造物撤去工 1式、仮設工 1式

【舗装修繕】切削オーバーレイ工約5,000m²

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）について》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者の要件は求めない）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価の評価項目は「災害協定等に基づく活動実績」及び「賃上げ実施」を加算点としています。

《余裕期間制度（任意着手方式）について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年11月1日までの間で受注者は工事の始期を任意に設定することができます。なお、工事の始期までの余裕期間内は、契約期間内ではありますが工期外であることから、監理技術者等の配置が不要となります。

《難工事指定について》

本工事は、交通量の極めて多い現道上に設置した狭隘な作業ヤード内での施工となることから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事」の総合評価の評価項目において加点対象となります。加点対象となる期間は、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引き渡し完了した施工実績が加点対象となります。

また、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

《スケジュール》

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ○入札公示、入札説明書 交付 | : 令和4年 7月25日（月） |
| ○競争参加資格確認申請書 提出期限 | : 令和4年 8月 3日（水） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | : 令和4年 9月 9日（金） |
| ○開 札 日 | : 令和4年 9月14日（水） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制
評価点(30点))÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上